



生物有機化学講座  
准教授  
岸本 崇 生  
(1967生)  
博士(農学)  
(京都大学・平8)

■経 歴

京都大学農学部林産工学科卒(平3.3) / 京都大学大学院農学研究科林産工学専攻修士課程修了(平5.3) / 京都大学大学院農学研究科林産工学専攻博士課程修了(平8.11) / ノースカロライナ州立大学森林資源学部博士研究員(平9.1 ~ 10.12) / 森林総合研究所(科学技術特別研究員)(平11.1 ~ 11.5) / 北海道大学大学院農学研究科助手(平11.6 ~ 19.3) / 富山県立大学工学部准教授(平19.4 ~)

担当科目	工学部：有機化学3 / 生化学演習 / 生物工学実験 / 生物工学基礎実験 / プレゼンテーション演習 / トピックゼミ 大学院：生物有機化学
専門分野	木質バイオマス科学 / リグニン化学 / 木材化学 / 有機化学
論文・報告	「Studies on the polysaccharide reactions in ozone bleaching of kraft pulp」(学位論文) Chemical synthesis of $\beta$ -O-4 type artificial lignin. Org. Biomol. Chem.,(2006). Influence of syringyl to guaiacyl ratio on the structure of natural and synthetic lignins. J. Agri. Food Chem.,(2010). HSQC NMR Characterization of acetylated fir wood regenerated from ionic liquid. J. Agri. Food Chem.(2011). Biomimetic oxidative coupling of sinapyl acetate by silver oxide: preferential formation of $\beta$ -O-4 type structures. J. Agri. Food Chem.,(2015).
著 書	「森林の科学－森林生態系科学入門－」(共著)、朝倉書店、2005 / 「木質の化学」(共著)、文永堂、2010 「リグニン利用の最新動向」(共著)、CMC出版、2013 / 「植物細胞壁実験法」(編著)、弘前大学出版会、2016 「リグニン利活用のための最新技術動向」(共著)、CMC出版、2020
特 許	「リグニンポリマーの製法」特許第 4279110 号 「人工リグニンポリマーおよびその製造方法」特願 2007 - 505800
所属学会	リグニン学会(平30 ~) / 日本木材学会(平3 ~) / アメリカ化学会(平9 ~) / 紙パルプ技術協会(平11 ~) / セルロース学会(平11 ~) / 有機合成化学協会(平14 ~) / 日本農芸化学会(平15 ~)
学会委員等	リグニン学会理事(平成30 ~) / セルロース学会理事(令1 ~) / 日本木材学会常任理事(平28 ~ 30) / 同地域学術振興賞選考委員会委員長(平28 ~ 30) / 同各賞選考委員会委員(平23 ~ 30) / 同学会賞等推薦委員会委員(平28 ~ 30) / 同技術賞選考委員会委員(平28 ~ 30) / 同優秀女子学生賞選考委員会委員(平28 ~ 30) / 同北海道支部常任理事(平12 ~ 17) / 紙パルプ技術協会木材科学委員会地方委員(平15 ~ 19)
受賞歴	日本木材学会賞(平23) / 第8回弘前大学出版会賞(平29)

現在の研究課題

1. リグニンモデル化合物および人工リグニンポリマーの合成
2. モノリグノールの脱水素重合とリグニンの化学構造に関する研究
3. イオン液体を用いた木質バイオマスの構造解析と変換

共同研究キーワード

木質バイオマス